

E-7

都道府県別交通事故データの公開状況

The Disclosure Situation of Traffic Accident Data in Prefectures

指導教授 安井 一彦 5126 三輪 洸

1. はじめに

交通事故死者数は年々減少傾向にあり、平成 20 年中には 5,155 人¹⁾となった。しかし、高齢者事故が増加の一途をたどる昨今において、交通事故データを詳細に提供することは必要不可欠である。全都道府県の警察本部はHP上で交通事故データを公開しているが、その形態・提供情報・詳細度は統一性がなく、どの程度の公開レベルが望ましいのかわかっていない。

そこで本研究では、各都道府県別に警察本部HP上で公開されている交通事故データの傾向、特徴を把握することを目的とし、どのような形態、情報、詳細度、統一性、公開レベルが望ましいのかを推察する。

2. 交通事故データの公開レベル

公開レベルは大きく分類して以下の表 - 1 に示す 4 通りに分けられる。発生状況は項目別に詳細が整理され、発生地点マップには地図上に事故発生地点がプロットされている。多発交差点ワーストは事故発生件数が多い交差点場所が整理され、発生状況図には交差点内の事故類型や状況が図上に示されている。また、発生状況に関しては全都道府県で公開されていた。図 - 1、図 - 2 には発生地点マップ及び発生状況図の例を示す。

表 - 1 交通事故データ公開レベル

公開レベル	詳細
交通事故発生状況	発生件数・死者数・負傷者数・年別・年齢別・男女別etc
交通事故発生地点マップ	事故発生地点が地図上にプロットされている
交通事故多発交差点ワースト	事故多発交差点ワーストが整理されている
交差点事故発生状況図	事故発生交差点内の事故類型・発生箇所等が示されている



図 - 1 交通事故発生地点マップ (千葉県警)

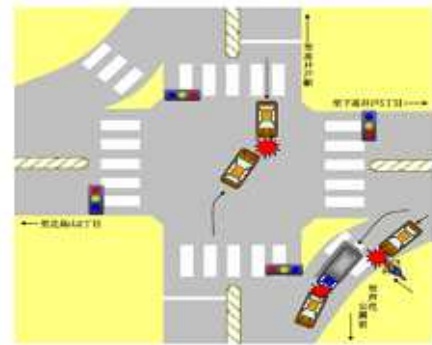


図 - 2 交差点事故発生状況図 (警視庁)

3. 交通事故データの公開状況

交通事故データの公開状況 (発生地点マップ、多発交差点ワースト、発生状況図) について整理したものを表 - 2 に示す。

表 - 2 交通事故データ公開状況

地方	都道府県	H21.2.3現在		
		交通事故発生地点マップ	交通事故多発交差点ワースト	交通事故発生状況図
北海道・東北	北海道	単独	-	-
	青森	-	-	-
	岩手	混合	-	-
	宮城	-	-	-
	秋田	-	-	-
	山形	-	-	-
	福島	-	-	-
関東甲信越	東京	単独	ワースト50	-
	神奈川	単独	-	-
	埼玉	混合	-	-
	千葉	単独	ワースト50	-
	茨城	単独	-	-
	栃木	単独	-	-
	群馬	-	-	-
	山梨	-	-	-
	新潟	単独	-	-
	長野	-	-	-
	富山	-	-	-
中部	石川	単独	-	-
	福井	-	-	-
	愛知	-	-	-
	岐阜	単独	ワースト10	-
	静岡	単独	-	-
	三重	単独	-	-
	大阪	単独	-	-
近畿	兵庫	-	-	-
	京都	単独	-	-
	滋賀	-	-	-
	奈良	単独	ワースト5	-
	和歌山	単独	ワースト10	-
	鳥取	-	-	-
	島根	単独	-	-
中国・四国	岡山	混合	-	-
	広島	-	ワースト43	-
	山口	-	-	-
	徳島	-	ワースト5	-
	香川	単独	-	-
	愛媛	-	-	-
	高知	-	-	-
九州沖縄	福岡	-	-	-
	佐賀	-	-	-
	長崎	単独	ワースト30	-
	熊本	-	-	-
	大分	-	-	-
	宮崎	-	-	-
	鹿児島	-	-	-
沖縄	-	-	-	
合計		単独:18 混合:3	8	8

発生状況に関しては、全都道府県において公開されていたのでここでは省く。3 項目全てを公開している都道府県は東京、千葉、和歌山の 3 件のみである。一方、3 項目全てを公開していない都道府県は 24 件であった。地方別で見ると東北や九州地方での公開状況が低く、人口が少ない自治体ほど低い傾向であるということが明らかとなった。

公開状況割合及び犯罪、事件、交通事故等が混合された発生地点マップの割合については図 - 3 に示す。発生地点マップの公開率は 45%と多くの自治体で公開されており、その中でも関東地方での公開率が高かった。犯罪、事件、交通事故等が混合された発生地点マップは 17% (3 件) であり、混合されたマップは少ないことが明らかとなった。多発交差点ワースト及び発生状況図は 17%と共に低い公開状況である。多発交差点ワーストの数は 5 ~ 50 と都県によって差があることが明らかとなった。また、発生地点マップや多発交差点ワーストからリンクさせ、直接発生状況図が見られる環境にある都道府県も確認できた。

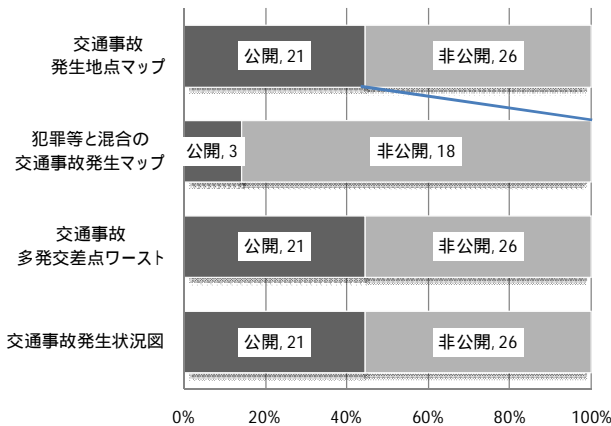


図 - 3 交通事故データ公開状況割合

4 . 交通事故発生状況の公開状況

交通事故発生状況の公開状況を 3 段階の詳細度レベルに分け、評価を行った。交通事故発生状況の詳細度レベルを表 - 3、都道府県別の交通事故発生状況の公開レベルを表 - 4、公開レベル割合を図 - 4 に示す。詳細に公開している自治体が過半数を占めており、多くの都道府県でプラス の情報を提供していた。簡略的に公開しているのは山形県、富山県、沖縄県の 3 県のみで簡略的に公開している 3 つの自治体には年齢別、男女別といった更に詳細な情報提供が望まれると考える。また、交通白書そのものを資料として、I T A R D A をリンク先として公開している都道府県もあった。

表 - 3 詳細度レベル

: 詳細	各項目別による詳細な公開や過去の交通事故発生状況の公開
: 中間	と との中間
: 簡略	死者数や負傷者数、発生件数のみの公開

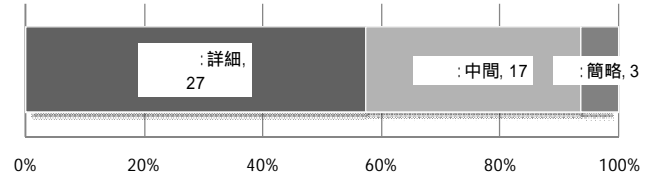


図 - 4 交通事故発生状況公開レベル割合

表 - 4 交通事故発生状況公開レベル

都道府県	交通事故発生状況	都道府県	交通事故発生状況
北海道		大阪	
青森		兵庫	
岩手		京都	
宮城		滋賀	
秋田		奈良	
山形		和歌山	
福島		鳥取	
東京		島根	
神奈川		岡山	
埼玉		広島	
千葉		山口	
茨城		徳島	
栃木		香川	
群馬		愛媛	
山梨		高知	
新潟		福岡	
長野		佐賀	
富山		長崎	
石川		熊本	
福井		大分	
愛知		宮崎	
岐阜		鹿児島	
静岡		沖縄	
三重			

5 . 結論と今後の課題

本研究では、全国の都道府県警察本部のHPを細部に渡り確認し、交通事故データの公開状況について整理することが出来た。公開状況は、各都道府県によってバラつきがあり、情報公開の差が大きかった。

交通事故情報の公開レベルにおいては、発生地点マップは交通事故単独での公開、多発交差点ワーストは 50 位までの公開、発生状況図の公開、全てが望ましいと考えられる。また、発生地点マップや多発交差点ワーストからリンクさせ、直接発生状況図が見られる環境にすることも必要であるとする。

今後は交通事故発生状況の公開レベルを統一し、利用者にとって活用しやすいものを提供する必要がある。

謝辞

最後に本研究を進めるにあたり、多くのご指導、助言を頂いた先生方、窪川雄太氏、大学院生の方々、研究室の同志の方々に厚く感謝の意を表します。

参考文献

- 1) 警察庁 : <http://www.npa.go.jp/>、平成 21 年 1 月 30 日
- 2) 全国都道府県警察本部HP